

平成 29年 1月 31日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 香川県立高松桜井高等学校 八田由美
2. 講師氏名: Dr. Jatindra N. BHAKTA
3. 同行者氏名: _____
4. 実施日時: 平成 29年 1月 30日 (月) 15:40 ~ 17:30
5. 参加生徒: 1年生 0人、 2年生 8人、 3年生 0人 (合計 8人)
備考: 聴講希望者
6. 講演題目: (英文) Probiotics: A potential tool of microbial technology for safeguarding life from intoxication of environmental pollution
(和文) プロバイオティクス: 環境汚染の中毒から生命を守る微生物技術の有望な道具
7. 講演概要: 自己紹介と出身国について、研究者になったきっかけなど(40分)
微生物技術について概要説明(30分)
プロバイオティクス乳酸菌を利用したバイオレメディエーションの研究についての説明(30分)
乳酸菌の顕微鏡観察など(10分)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 110分 質疑応答時間 0分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、微生物試料の観察
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
講師が作ってくださった用語集や講義で使用されたスライドに、専門用語については日本語訳をつけてくださっていました。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
 - ① 講師の方が準備してくださった専門用語の単語集
 - ② 英語のリスニングに慣れるために、web 上で無料公開されている microbiology 関係の映像を視聴

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項:

講師の方が、短い時間の中でいかに生徒の興味を喚起して、これからの生活や学習に役立ててもらえるかということを考えてプログラムを組んでくださったことにとっても感謝しています。事前学習の資料や、当日のスライドの内容をあらかじめ見せていただいたことで、高校側も必要なフォローをあらかじめ考えておくことができました。また、スライドの専門用語には日本語訳もつけてくださり、日本語も少し交えながらゆっくり丁寧に説明してくださったので、生徒からもわかりやすかったという感想が寄せられました。研究で利用されている資料も持参して実物を目の前で見ていただき、感動していました。教員の参加者からも質問が飛び交い、好評でした。